



怒濤通信

糸満高等学校 校長だより
令和7年10月7日(火)
発行者 校長 山城 芳則

第7号



「糸高魂全開」完全燃焼！感動の体育祭！！

9月28日(日)に暑さ対策のため午後2時から、休憩時間の確保等工夫しながら、体育祭が行われました。応援に駆けつけてくれた大城健同窓会長、PTA役員をはじめ、保護者のみなさま、誠にありがとうございました。生徒諸君の若さ溢れる競技や演技に心躍らされたのは私だけではないと思います。第34回体育祭が成功裏に終えられたことは、ひとえに先生方の支えや保護者のみなさまの温かい励ましの賜であります。この感動は必ずや生徒の成長に繋がり、人生の華やかな1ページとなることでしょう。感謝申し上げます。



～ 頑張れ！教育実習生！ ～

9月24日(水)～10月15日(水)の3週間、本校卒業生の3名の教育実習生が実習に励んでいます。

○国土館大学(三和中出身) 新垣徹朗先生(保健体育) ☆10月1日(水)LHR 体育館、1,2年生向け
○国土館大学(兼城中出身) 小笠原絢菜先生(養護教諭) 「教育実習生による進路講話」を実施しました。
○四国大学(東風平中出身) 野原聖愛先生(養護教諭)



生徒の皆さんは先輩から大学のことやなぜ教職を目指しているのかなどたくさん質問して下さい。特に県外大学の生の情報を聞いたり、生活の様子を聞くと参考になると思います。実習生ちばりよー！

～ 学校説明会参加者多数 ～

9月18日(木)高校入試に係る糸満高校の学校説明会が行われました。中学生393名、保護者・引率の先生約90名参加していました。

説明会は学校長あいさつから始まり、学校概要・入試説明、進路指導、生徒指導、生徒会の紹介の順に説明をしました。中学生たちは熱心に説明を聞き、その後の質問コーナーでは「特進クラスはどうしたら入れるのか」「部活動は掛け持ちできるのか」「修学旅行はどこへ行くのか」「アルバイトはできるのか」など受検生の生の声を聞くことが出来ました。説明会終了後は部活動見学が行われ、多くの中学生たちが校内で活動する部活の様子を見ていました。

～ 糸満大綱曳き ～

10月6日(月)糸満大綱曳き道ジュネーに本校ダンス部が参加し、ダンス並びに80周年記念行事のPR



を行いました。地域から依頼を受けて行事に参加する糸高生、頼もしかったです。お疲れ様でした！



～ 進路講演会 ～

9月30日(火)1,2年対象に竹下しんいちさんを講師にお招きして、夢実現のためのモチベーションアップなど進路講演会を行いました。竹下さんは漫才師を目指しながら舞台俳優としてデビューするなどプロのエンターテイナーです。お忙しい中、貴重な講演をありがとうございました。



『興味あることをちょっとずつ、ちょっとずつやってみよう。毎日少しずつでいいから、けど頑張らないで、毎日頑張るとしんどいから』
『いつも当たり前に行っていることにやる気を出してみよう。やる気を出して物事に取り組むと、気分が良くなる、頑張った後は気分がいい。その後、やろうと思ったことをやったら気分も良くなる。まずはやる気が大事』『やりがいをもちたいと思ったら、一番やりがい持っていたり、一番楽しそうに働いている人見つけて、その中でイキイキしている先輩や先生を見つけて声をかけてみて』
『人に話しかける時は、まず自分の名前言う、頭を下げる、そして絶対答えてくれる。このルールを守ってください』
『いっぱい話を聞いて自分の可能性をいっぱいにして100%夢叶える人になってください』

を出して物事に取り組むと、気分が良くなる、頑張った後は気分がいい。その後、やろうと思ったことをやったら気分も良くなる。まずはやる気が大事』『やりがいをもちたいと思ったら、一番やりがい持っていたり、一番楽しそうに働いている人見つけて、その中でイキイキしている先輩や先生を見つけて声をかけてみて』
『人に話しかける時は、まず自分の名前言う、頭を下げる、そして絶対答えてくれる。このルールを守ってください』
『いっぱい話を聞いて自分の可能性をいっぱいにして100%夢叶える人になってください』

～ 校内進路ガイダンス ～

9月25日(木)5,6校時に、1,2年対象に希望する分野および大学や専門学校の講師から直接学び、進路選択に役立てる目的で講演(体育館)とガイダンス(希望する分野)を実施しました



～ 今月のことば ～

『コミュニケーション能力は喋る力ではない。聞く力。』(竹下しんいち 株式会社バンズカンパニー代表取締役社長)
「人の話を聞く力。それは行動力です」「1人に聞く、2人に聞く。沢山の人の聞いた方がいい。聞いたら自分でデータができる。その中で後は自分で決めるだけ。正しいアドバイスの聞き方です」

